

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 台東つばさ福祉会 つばさ放課後クラブ			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日 ~ 2025年 10月 29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年 10月 29日 ~ 2025年 11月 5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 25日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービス計画が適切に作成され、丁寧に保護者へ説明されている。	面談だけでなく、連絡帳・電話・メールなどを通して、子どもの現状と保護者の思いを丁寧に共有するように心がけている。	職員は今後も定期的に、構造化やペアレントトレーニング等の研修受講を実施し、子どもと保護者への支援スキルを磨いていく。
2	子どもの安全確保や個人情報保護など、子ども及び家庭の安全が保証され、安心してご利用いただいている。	緊急時を想定したマニュアルが各種作成されており、毎年マニュアルの見直しを行っている。各種訓練は全職員・利用児を対象に実施している。	各種訓練は定期的に繰り返し行うことで、緊急時に応えるよう定着していく。
3	将来に向けての自立活動（作業）を取り入れている。	家庭や利用開始前に利用していた事業だけでなく、将来を見通して必要な力をつけることを目指している。	障害者通所施設にて実際に行われている梱包や封入、検品作業などの軽作業を取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のほかの子どもと活動する機会が少ない。	地域の児童館で活動をする機会を設けていたが、仮移転により距離が遠くなってしまった。	地域の図書館でのイベントに参加するなど、出来ることを模索し活動に取り入れている。
2	きょうだいへの支援について、現状は実施していない。	きょうだいへの支援について、面談などで丁寧に聞き取るように心がけているが、具体的なアプローチまでは行っていない。	保護者会を年に2度開催し、ご意見を伺って少しでも運営に反映できるよう努めている。きょうだいへのアプローチについては、保護者の意見を参考にしていきたい。
3	学校を卒業していく子どもへの支援力が上がっていない。	学年に制限を設けての契約をしていないこともあり、結果的に、現在は利用年齢に偏りがあり、近年は高校を卒業する子どもの支援を実施していない。	今年度は、高校生が複数在籍している。高校卒業とともに社会に出る可能性が高いため、障害者施設等に移行していくことを視野に入れて、コミュニケーション力や集中力、体力、生活リズムを組み立てる支援を実行していく。